

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成12年1月4日 第40報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanizomenon sp.*</i>	60		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	730		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	40		
(黄鞭) <i>Dinobryon sociale var. americanum</i>	40		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion gallicum</i>	30		
(黄鞭) <i>Chromulina sp.</i>	10		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	30		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	210		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	40		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	270		
(珪) <i>Synedra acus</i>	6		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	130		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense var. apiculatum</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	40		
(褐) <i>Rhodomonas lens</i>	120		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	380		
(緑) <i>Eudorina elegans</i>	32		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus var. mirabile</i>	30		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	1		
(緑) <i>Closterium acutum var. variable</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	26		
(緑) その他の緑藻	10		
(藍) 藍藻綱	60	2.6	14.6
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	860	38.0	20.0
(珪) 珪藻綱	696	30.7	13.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	0.4	0.4
(褐) 褐色鞭毛藻綱	540	23.8	8.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	100	4.4	43.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2266	総体積	2.0E+06
種類数	24	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各網ごとの占有率(単位:%)

細胞体積は、顕微鏡観察による画像から

試験的に推定した概算値である。

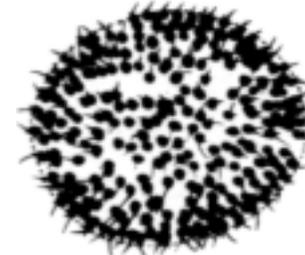
動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	920

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
繊毛虫類 <i>Tintinnopsis cratera</i>	300

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

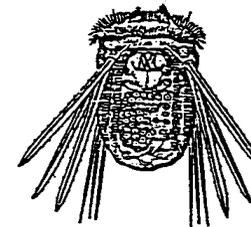
植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ニセクスダマヒゲムシ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

コメント:

植物プランクトンは黄色鞭毛藻ウログレナ アメリカ - ナが最も多い細胞数であった。この種は11、12月以後に見られることも多い。毎日調査では平成2年度以降では、平成3年12月、4年11、12月、5年1月、7年12月、8年11、12月、9年11、12月、10年11、12月、11年1月に1,000細胞数/ml程度と多く出現した。細胞体積ではスタウラストルム ドルシデンティフェルム変種オルナツムが最も大きな値であった。